

ふれ愛フェスタ

～ハートFULL新居浜～

2025年

12月20日(土)

13時30分～15時30分(開場13時)

新居浜市市民文化センター 大ホール

第1部

【子どもたちによる人権作文入選作品朗読】

差別への憤りと解消への熱意を、市内高校生が朗読します。

第2部

【講演】「あきらめない心」

世界最高峰のパフォーマンスと日本語ラップを組み込んだ
心に響くメッセージをお聴きください。

講師/ちゃんへん.さん (プロパフォーマー)

2023年度 第74回全国人権・同和教育研究大会 特別分科会 講師

第50回ムーンバフェスティバル ベストパフォーマーアワード受賞

著書『ぼくは挑戦人』(2020年8月Amazon売れ筋ランキング1位)



ロビーにて開催

人権啓発コーナー 福祉バザー など

主催 新居浜市 新居浜市教育委員会 愛媛県人権教育協議会新居浜支部
共催 東予地域人権啓発活動ネットワーク協議会
後援 愛媛県人権啓発活動ネットワーク協議会



人権イメージキャラクター
人KENまもるくん



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

【お問い合わせ】新居浜市教育委員会事務局人権教育課 TEL(0897)65-1243

講演概要

コリアンのみが住む「ウトロ」に生まれ、成長していく中での家族との出来事、日本人の子どもと違う生活環境。小学生の頃に上級生からいじめを受け、それを先生から聞いた母親が発した言葉。ジャグリングと出会い、世界に飛び出す時に聞いた家族の想い。嫌いなヒップホップを知ってやろうと渡米して気づいた、その音楽が持つ本物の魂。軽妙ながらも真正面から真剣に生きてきた「本物の叫び、言葉の重み」を「あきらめない心」という言葉にのせて、熱いメッセージと共に受け止めてください。

講師プロフィール

1985年10月10日、京都府宇治市に所在を置くウトロ地区で生まれ育つ。

中学2年生の時にパフォーマーを志し、全て独学で芸や技を学び、中学3年生ではアメリカのパフォーマンスコンテストでアジア人初の金メダルを受賞、2002年には最年少17歳でパフォーマンスのワールドカップに出場し、観客の投票において初出場で1位を獲得。

2003年には1年間で47都道府県すべてで公演した日本で唯一の偉業を成し遂げた。テレビ番組「だけしの誰でもピカソ」でビートだけしに「大学で勉強するより世界をまわった方が勉強になる」と言われ翌日大学を中退し、主に海外を中心に活動し、これまで82か国以上の公演を行う。マイケル・ジャクソン、北野武、デズモンド・ツツ等各国の著名人の前でもそのパフォーマンスを披露。

2009年には東京ディズニーリゾートと大阪ユニバーサルシティの両施設と専属パフォーマー契約。2010年にオーストラリアのメルボルンで行われた第50回ムーンバフェスティバルにて、ベストパフォーマーアワードを受賞。

2011年は朝鮮学校全国ツアーを開始し、2012年には朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)で公演を成功させた、パフォーマーとして南北コリアで公演を行った唯一の人物。

2020年8月に自身の体験を綴った著書「ぼくは挑戦人」(発行・ホーム社 発売・集英社)が発刊され、初日でAmazon売れ筋ランキング1位を獲得し、話題となる。

かつては韓国でミュージシャンとして活動しており、現在は『あきらめない心』をテーマとして、日本語ラップと世界最高峰のパフォーマンスを武器に、心に響くメッセージを放っている。



~著書『ぼくは挑戦人』への感想~

向かい風へと走り続けたら、身边に触れる幸せにたどり着いていた。“生き方”を強烈に問ながらも、じんわり温かい、壮大な旅の軌跡がここにある
—— フォトジャーナリスト・安田菜津紀氏

在日として生まれ、生きることが、こんなにも痛くて、楽しくて、切なくて、おかしくて、愛おしくて、力強いって、知ってました?」
—— 映画評論家・町山智浩氏

昨年度ハートFULL新居浜 開催の様子



~昨年度参加者の感想~

- 子ども達の目線で発表される人権作文に、素直にその声を聞けるそのチャンスに出会えたことに、喜びと感動を覚えています。ありがとうございます。
- 高校生の司会など、とても上手で素晴らしかったです。
- 市内の高校生が参加し、いろいろな世代の人が一緒に考えたりする機会となり、良かったと思う。